

# とば すいぞくかん むかしばなし 鳥羽水族館で昔話

## にん ぎょ ひめ 人魚姫

ふか うみ そこ にん ぎょ きゅうでん  
深い海の底に人魚たちがすむ宮殿がありました。  
おうさま 6 にん ひめ 15 さい うえ  
王様には6人の姫があり、姫たちは15歳になると海の上に  
うかび 出ることを許されました。

こころ すえ むすめ  
心やさしい末娘がようやく海の上に浮かび出たとき、  
ふね の にん げん おう じ ひと め み す  
船に乗っていた人間の王子を一目見て好きになりました。  
そして、あらし 船が しず しまった とき ひっし  
そして、嵐で船が沈んでしまった時、必死になって王子を助けました。  
しかし、き うしな  
しかし、気を失っていた王子はそれに気づきませんでした。

ま じょ ちから うつく こえ  
姫は魔法の力をかりて、美しい声とひきかえに人間の  
すがた  
姿になることができました。  
しろう じ じょ  
王子の城に出かけていって侍女になりました。  
かのじょ いのち おんじん し  
ところが、王子は彼女が命の恩人であることを知らないまま、  
となり くに おう じょ けっ こん  
隣の国の王女と結婚してしまいました。

あい え ちど  
王子の愛を得られなかった姫は、人魚にも戻ることができず、  
ついに海に身投げ、そのたましい そら  
ついに海に身を投げ、その魂は空にのぼっていきました。

